

《令和6年第4回大空町議会定例会一般質問通告内容集約書》

【5名6件】

〔令和6年12月10日整理・大空町議会事務局〕

質問日	順	質問者	質問事項	頁
12月17日 (火曜日)	1	大泉 知功 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和 6年12月 9日 午後 3時42分	1. 全国学力テスト結果の課題と今後の対応について	1
	2	上地 史隆 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和 6年12月 9日 午後 4時00分	1. 自治会の存続について	2
	3	鈴木 秀之 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和 6年12月 9日 午後 4時20分	1. 地域環境と調和した再生可能エネルギー発電について 2. 郷土資料、文化財資料の保存活用について	3
	4	森賀 祐司 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和 6年12月10日 午後 3時00分	1. 教育施設の利用について	5
	5	川村 淳 議員 (質問時間 30分) 質問受付： 令和 6年12月10日 午後 4時20分	1. 大空町内の除雪について	6

※ 一般質問は「一問一答方式」にて、通告順により行われます。

※ 傍聴席入口に掲示の傍聴規則を順守の上、携帯電話の電源はお切りくださるよう御協力をお願いします。

※ 御不明な点などがありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>1. 全国学力テスト結果の課題と今後の対応について</p>	<p>(1) 大空町の児童生徒に係る全国学力テスト結果について 小学6年生及び中学3年生を対象として4月に実施された今年度の「全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）」の大空町の児童生徒の状況とその分析結果について、10月25日に町教育委員会のホームページに公表されました。また、北海道内14管内の平均正答率について、11月6日に道教育委員会のホームページに公表されました。これらを踏まえ、今年度の本町の結果について、どのように受け止められているのか伺います。</p> <p>(2) タブレット端末を活用した授業について 小中学校の児童生徒全員にタブレット端末が貸与され、自分達が学んだ時代と比べて、授業の進め方が大きく変わったのではないかと思います。反面、文章の読解力が弱くなったり、漢字がなかなか書けなくなっている子が増加しているとの報道も目にするようになりました。また、今回の学力テストにおいても『思考や判断、表現力を問う問題や記述式の問題で課題がある』と、オホーツク教育局も分析されていますが、このことについて、本町ではどのような対応や対策等を講じられているのか伺います。</p> <p>(3) 規則正しい生活リズムの指導について 子供達が健やかに成長していくためには、適切な運動、バランスのとれた食事、十分な睡眠が大切と言われています。コロナ禍の長い自粛期間やスマートフォン普及の影響等により、各家庭においても生活習慣に変化が見られるようです。規則正しい生活リズムを身に付けることが児童生徒の学習成果にもつながっていくと聞いていますが、本町ではどのような対応や対策等を講じられているのか伺います。</p>	<p>教育長</p>

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 自治会の存続について	自治会は、地域コミュニティの中核として、高齢者の見守り、集会施設の管理、環境美化、清掃活動、防災・防火・防犯、交通安全、行事など様々な地域の取り組みを担っていますが、近年は人口減少や少子高齢化、生活スタイルの多様化など、自治会に入る人が減っており、地域の担い手不足やその存続自体が危惧されていますが、我が町の現状はどのようになっているのか伺います。	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
<p>1. 地域環境と調和した再生可能エネルギー発電について</p>	<p>自然エネルギーを活用し、二酸化炭素排出を抑制しようとする太陽光発電施設が本町においても増加しています。さらに、今年、藻琴山山麓地域に風力発電施設設置に関する調査問合せがあったと伺いました。</p> <p>大空町が、ゼロカーボンシティ宣言後、脱炭素社会の実現に向けた事業推進に関し、町内外の関係企業・団体から、本町での事業展開について関心が高まっているように感じます。</p> <p>令和4年12月に、再生可能エネルギー発電施設に関する地域の自然環境、近隣居住者の生活環境等との調和に配慮することを基本とする条例整備について伺いました。</p> <p>その際は、地域住民に意見を聞き内部検討していくと答弁がありました。</p> <p>現在、ゼロカーボンシティ宣言をし、総合計画の策定も進められています。</p> <p>自然環境、生活環境等に配慮した、潤いのある地域社会及び住み続けたいまちづくりのために、環境と調和した再生可能エネルギー発電推進に関する町民合意の基本的確認事項を規定しておく必要があると思います。</p> <p>ゼロカーボンシティ宣言との関係をも勘案し、「再生可能エネルギー発電施設に関する条例の整備」について町長の見解を伺います。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 郷土資料、文化財資料の保存活用について</p>	<p>大空町が誕生して20年を迎えようとしています。 新たなまちづくりの歴史が積み上げられています。未来志向のまちづくりを進める上では、歴史に学びふるさとに伝わる知恵と経験を未来のまちづくりに活かしていく必要があると思います。</p> <p>町民から寄贈頂いた開拓当時の生活文化、産業活動等に関する資料は、郷土の貴重な財産であると認識しております。</p> <p>現在、郷土資料・文化財資料が展示、保管されている各施設は、老朽等管理する施設本体が課題を抱えている状況であると思います。</p> <p>本年3月に女満別研修会館の建替計画に関する社会教育施設基本構想について常任委員会で説明がありましたが、その後の対応と現在策定作業が進められている総合計画との関係から次の項目について伺います。</p> <p>(1) 女満別研修会館資料室の収蔵資料の取扱いについて 資料の管理、整理整頓のありかたについて早期に取扱い方針を策定する必要があると思います。今後の計画について伺います。</p> <p>(2) 資料研究の進め方について 専門的に研究し、資料を整理する職員配置が必要と考えます。また、地域の郷土史関係団体との連携についてどのような対応方針を立てているのか伺います。</p> <p>(3) 研修会館施設整備と郷土資料保存施設との関係について 新たな施設整備計画を検討中と承知しています。現研修会館資料室との関係及び大空町としての郷土資料展示保存に関する検討状況を伺います。</p>	<p>教育長</p>
-------------------------------	---	------------

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 教育施設の利用について	<p>大空高等学校女満別キャンパスと豊住交流センターのこれからの利用の考え方について伺います。</p> <p>(1) 2つの施設の現在の利用状況と今後の利用方針について伺います。</p> <p>(2) 大空高校生によるプロトオオゾラの提言の中にあつた廃校ホテルについて、今年豊住交流センターにおいて実証実験があつたとの報道がありましたが、その評価と今後の進め方について伺います。</p> <p>(3) 2つの施設は老朽化に伴い、定期的に補修が必要だと考えますが、施設のメンテナンスに関する考え方について伺います。</p>	町 長 教育長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 大空町内の除雪について	<p>これから本格的な冬となり、本町でも除雪作業が本格的に稼働する時期になります。</p> <p>ここ数年の課題として若手の人材確保及び人材の育成が急務となっていますが、人口減少に伴う人材の確保は難しい状況であると認識しています。これは除雪センター以外にも民間の建設業者が地域貢献活動の一環として冬季間の仕事のない時期に有償で行っている公共施設の除雪またはお寺等の除雪や民家の除雪も同様の課題が起こっており、今後10年先を見据えたときに大きな不安であると考えています。</p> <p>このことから次の2点について町の見解を伺います。</p> <p>(1) 町内除雪センターの人員確保と体制の現状と今後について</p> <p>(2) 公共施設等における今後の除雪体制について</p>	町長